京進主催
オンライン教育講演会

脳には妙なクセがある

11/29(日)

第一回講演10時～11時
第二回講演16時～17時



「どうして何度言っても忘れてしまうの？」「やる気が出るときと、出ないときがあるのはなぜ？」「ほめることは、本当に子どもの成長につながるの？」勉強や生活の中で「どうしてだろう？」と思う場面がたくさんあります。今年の講演会では「脳には妙なクセがある」をテーマに、私たちの記憶や学習、感情、やる気などに関わる“脳の不思議”についてお話しいただきます。脳は、いつも合理的に働いているわけではありません。忘れたり、勘違いしたり、思い込みに左右されたり――。困ったことのように思えるそんな「脳のクセ」も、実は人が学び、成長していくうえで大切な意味を持っています。脳の仕組みを知ることで、子どもの行動をこれまでとは少し違った角度から見ることができるかもしれません。

東京大学薬学部 池谷裕二 教授

【登壇者プロフィール】
1970年静岡県生まれ。薬学博士。東京大学薬学部教授。脳研究者。2024年、『夢を叶えるために脳はある』で第二十三回小林秀雄賞を受賞。著書に『進化しすぎた脳』『単純な脳、複雑な「私」』『脳はなにかと言い訳する』『パパは脳研究者』『生成AIと脳』など。現在、京進の専属アドバイザーとして、脳科学に基づく学習法や、リーチングの展開にご助言を頂いている。

お申込はこちらから
https://kysn.jp/brain_2026